

フレイベル 雜感

東京女子高等師範學校教授文學士

下 田 次 郎

(フレイベル紀念日講演大要)

今日は幼稚園の開祖フレイベル氏の誕生會であります、私に何かお話しをせよとの事で御座います、私は昨年の暮から病氣をしまして未だ健康が十分ではありませんので、別に研究もせずには思ひついた事だけをお話したいと思ひます。

一體人間の身體は、皆さんは御承知の通り下等動物から進化して來たものであります、獨逸のエナ大學の動物學の教授ヘッケルといふ老先生は、人體の諸機關の系統を研究して「生物學上より見たる教育」といふ書物をかゝれました。吾々の身體は下等からだん／＼に仕立てあげられて來たもので、決して一時に出來上つたものでありません。それで教育も其發達の順序にしたがつて施さなければなりません。筋肉でも基礎的のものゝ附加的

のものとがあります。胴體や手足や首の筋肉は根本的のもので、手足の指や舌、顔面の筋肉は附加的のものであります根本的の筋肉は之を特別に教育しなくても使用する事が出來ます、車夫などは此根本筋肉を資本として生活してゆくのです、附加的筋肉は之を教育して手工をやらせたり技藝をさせたりするのです。發達するものも此根本筋肉から先きに發達して次に附加筋肉が發達します、衰へる時は細かい附加筋肉から衰へて漸次大きな筋肉が衰へて來ます。子供から大人になる時もまづ大きな筋肉から發達して次に附加筋肉が發達します。それで小さい時はなるべく此根本筋肉の發達を十分ならしめるやうに注意しなくてはなりません、即ち飛んだりはねたりする運動をさせる

がよろしい、それはあんまりあら／＼しいから、も少しおとなしくしなくてはなど云つて根こんのつむ仕事をさせたりするのは發達の順序にそむく事になります。始めに技藝などを教へて細かい筋肉の發達を心がけるなどは砂の上に家を築くやうなもので危険な事です。神經衰弱を起したり或は變てこな早熟者を仕立てあげる事になります。之れは子供の虐待であります。女の子はをとなしくせよと云つて其男兒と同じに持つて居る發動性をおさへつけるのは甚だよろしくありません。小學校の女生徒の日記を見ましたら、飛鳥山へ遠足に行つてあの傾斜になつて居る芝草の上をころがつた時のおもしろさは忘れられないとありました。此時代は女の子も男の子と同じく荒らい運動がおもしろいのであるからなるべく運動を自由にさせてやりたいものです、荒らつぽい事は女にあるまじき事だからなど、云つて、あまり小さい時から出来上つた女をこしらへるなどは感心した話でありま

せん。男女ともどうか適當の運動を獎勵したいものであります。日本婦人の體格も五十年前に比べるとよほど發達して來たらしと思はれますが之はひとへに學校で獎勵する體育の賜物でありませう。

日本橋の目ぬきの大通の商店には後妻が多いと聞いて居りますが、さういふ處のおかみさんは年中日の目を拜まないで箱入で育てられて箱入りで暮して居る者だから發達が不十分であつたり體質が虚弱であつたりして、つひ夭死する結果だらうと思はれます。英國では「純粹のロンドンツ子同志が五代つゞいて結婚したらロンドンは滅びてしまふであらう」と云はれて居るさうですが同じ事が東京でも云へはしないかと思ひます、田舎の新らしい血が混るからロンドンでも東京も無事で居るのせう。女子の體格が進んで來たといふ事は女子教育の興へた最大なる利益であらうと思ひます。

子供は身體の發達につれて次第に玩具の好みも

違つて来るやうです。而して其好む玩具が、好む時期に最有効なのであります。鞠を持ちたがる時は最鞠が必要の時なのです。その時期を過ぎれば鞠はおもしろくなります。羽子板のほしい時も矢張り同じ事です。自然に好くやうな時に好くものを與へて其玩具の効力を失はせぬやうにしたいものです。遊ぶといふ事は人間の特色であつて、人間ほど遊ぶものはない、獸類などは遊んでも遊ぶ時期が極短かい、なまけものといふけものは木の技にぶらさがつて居るだけで決して遊ばない。之に反して人間は二十年乃至三十年親の脛をかちつて遊ぶのです。そして特に子供はその遊んで居る間に秩序はないが、身體精神共に其發達を遂げる事になるのです。故に幼稚園などではなるべく此遊びを主として自然に身體の發育をはかるやうにありたいものです、あまり物珍らしく學科らしくしたくない。restless (休む間なし)といふ事は子供の特色でありますから、じつとして居るやうなの

は變體なのであります。式場などにはいつて居ても、後をむいたり横をむいたり始終そわ／＼して居ますが、あれ以上靜にさせるのは無理なのです。あれだけでもよくして居ると思ふ位です。西洋でもをとなくしつづけるといふ事は中世時代に於ては理想でありまして、靜にさせる爲めに随分手痛い體罰などを與へたものです。殊に女子には沈鬱的になるほどのをとなしさを強いたものです。然るにルーソーが出て來て、教育の自然主義を稱へて、子供は自由に遊ばせなくてはならぬ。なるべく放任して育てなくてはならぬ、さうして居る中に追々に心身を鍛鍊してゆくのがよい、そして書物は十二才乃至十五才になつた時ロビンソンクルソーを讀ませるがよいと唱道しました特に書物をロビンソンクルソーと定めたのは、其主人公が無人島に漂流して、單獨で生活の材料をとゝのへて、獨立獨行的にやつて來たその精神を養はせる爲に最初の讀み物に之を撰んだのであります。

ルーソーは子供の早熟を非常に恐れて自然の發達を遂げしむる事の大切なるを極力道破した。之れは中世の教育主義に對しての大反對でありまして政治の根本的革新と共に不朽の大功蹟であります。然しながらルーソーは教育者として實に不完全な人でありました。新しい教育説の先驅者として尊いので實行者としては不適任の人でありました、此主義を躬賤實行したのはフレーベル其人であります。フレーベルと云ふ人は常に森林などを散歩して默想に耽ける人であつたさうです。始めは建築師であつたのですが、どうかした調子にその免許狀を紛失したので、ふと子供を教へて見たのださうです、處が非常におもしろくてやめられないので遂に教育に一身をゆたねる事になつたのださうです。もし免許狀を失はなかつたらフレーベルももとの建築師として終つたのでありません。世の中には随分偶然の出來事によつて天與の才能を發揮する人があります。教育者としてフ

レーベルは最適した人でありました。此人は物事を神秘的に考へたらしい、また物を比喩的に考へる事が好きらしかつた。子供は植物で、學校は庭園で、教師は園丁にたとへて居ります。そして園丁は此植物を自由に發育せしめるやうにつとめなければならぬ、從來の苛酷な懲罰などから開放して、愛を基本としてその成長を助けはごこんでゆかなくてはならぬ。いちめておさへつけてしつつけをするといふやうなのは絶體に不可である。自由に自然に自分を擴張させる事が教育の主張であると云うて居ります。

しかし此愛もあまり度に過ぎてはよろしくないと思はれます、先達て青木堂へ買物に行きましたら六つ位の男の兒が硝子瓶にはいつて居る菓子を見て是非ほしいと云つてぢんだを踏んで泣いて居りました、そしてお母さんはその駄々つ子の云ふまゝになつてその菓子を與へて居られました。店屋の菓子をほしがつて泣き出すやうなのは、少

し平生 *love* が過ぎて居る結果ではなからうかと思ひました。幼稚園に於ても愛情を主とすべきは云ふまでもありませんが、あまり甘やかし過ぎぬやうにしまるべき處はよくしまつて、善良な習慣をつけなければなりません。しかし幼稚園を學校のやうに考へるのは無論よろしくありません。

私は幼稚園についてはあまりよくしりませんが日本でも義務教育までにはなつて居りませんし、本家本もとの獨逸でもそれほど盛になつては居な

いやうです。西洋では一體に幼稚園よりは幼児預り所といふものが随分澤山あつて労働者の足手まといになる子供を預つて之を嫪育して居るやうです、乳のみ兒の時から之を預つて乳母を傭ふて乳をのませて居ります。日本でもどうか幼稚園の外に托兒所といふやうなものが設けられて、労働者のはたらきを助けてやるやうにかつ周圍からの誘惑の多い貧兒を教育してやる事にとめたいものと思つて居ります。(文責在記者)

『ピ ッ プ』の 話 (デ ッ ケ ンス) (三)

|| 英文學に現はれたる子供(二十九)||

岡 田 み つ

僕は、相當の年になるとジョーの弟子になる筈で、それまでは、姉は甘やかしてはならぬと言つて居た。鍛冶場でチヨコくした用に使はれたり、

近所の家で、鳥を嚇してもらひたいとか、小石を拾つて貰いたいとかいふと、僕は頼まれて行つた。併し家族の品格を落してはならぬといふので、臺